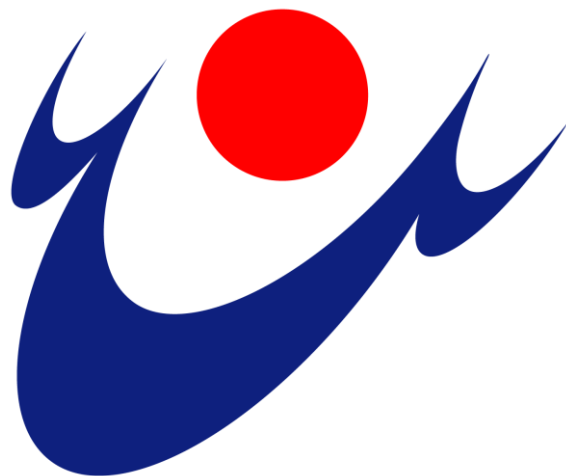


令和5年度 財政状況の公表

令和5年度財政方針及び令和4年度下半期の財政状況



日 置 市

目 次

第 1	令和 5 年度当初予算の概要	1
1	市の財政状況	1
2	令和 5 年度当初予算施政方針（要旨）	1
3	一般会計の予算規模	2
4	特別会計及び公営企業会計の予算規模	2
(1)	国民健康保険特別会計	2
(2)	国民宿舎事業特別会計	2
(3)	健康交流館事業特別会計	3
(4)	温泉給湯事業特別会計	3
(5)	介護保険特別会計	3
(6)	後期高齢者医療特別会計	3
(7)	水道事業会計	3
(8)	下水道事業会計	4
5	令和 5 年度当初予算の姿	5
(1)	会計別の予算規模	5
(2)	一般会計の歳入歳出予算	6
第 2	令和 4 年度下半期における補正予算の状況	10
第 3	令和 4 年度下半期における予算の執行状況	15
1	一般会計予算の執行状況	15
2	特別会計予算の執行状況	16
3	企業会計予算の執行状況	16
第 4	市民の税負担と住民サービスの状況	17
第 5	市債及び一時借入金の状況	18
第 6	市有財産の状況	19

第1 令和5年度当初予算の概要

1 市の財政状況

本市の財政構造は、歳入の大部分を地方交付税や国・県支出金などの依存財源が占めており、自主財源である市税や使用料及び手数料などは3割程度で、自主財源比率が低い構造となっています。また、少子高齢化の進行による扶助費の増や合併の総仕上げと位置付けた大規模事業の実施などによる公債費の増など義務的経費が増加しています。さらに、令和5年度は、光熱水費等の施設管理経費、南薩地区新クリーンセンターの施設整備に伴う負担金の大幅な増額が見込まれています。

このような厳しい財政状況を鑑みると、事業の緊急性や重要性等を十分に考慮し、限られた財源を効果的に配分するとともに、国・県補助制度の積極的な活用と財政調整基金や施設整備基金などの基金や有利な地方債を有効活用することにより、財政の健全性の確保とバランスのとれた予算編成を図っていく必要があります。

2 令和5年度当初予算施政方針（要旨）

本市においては財政規律の維持を念頭に令和5年度も引き続き、人口減少の克服と地方創生の取組である「日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を「第2次日置市総合計画」後期基本計画の重点施策として一体的に位置付け、人口減少に対応する実効性の高い施策とし、「第2次日置市総合計画」に掲げる将来都市像「住んでよし 訪ねてよし ふれあいあふれるまち ひおき」の実現に向けた取組を着実に進める予算編成を行うことを基本としました。

また、これまでの厳しい財政状況に加え、エネルギー価格の高騰による光熱水費の上昇や扶助費の増加、公債費の高止まりなどによるさらなる財源不足を乗り切るため、補助金の削減などの事務事業の見直しを引き続き実施し、歳出削減を図りました。

今後も、これまで行ってきた歳入・歳出改革の努力について決して緩めることなく、徹底した行財政改革を推進し、将来にわたって弾力的で足腰の強い持続可能な行財政構造を構築するため、限られた財源内で最大限の効果が得られるよう一層の歳出削減と歳入確保を推進してまいります。

3 一般会計の予算規模

令和5年度の当初予算は、限られた財源の中で予算調整を図る一般財源枠配分方式により編成しました。市民サービスの維持・向上等を図りつつ、安定的で持続可能な財政運営も考慮した上で、緊急性や重要性のある施策・事業等を選択し予算を編成した結果、令和5年度の一般会計当初予算額は、過去最大の297億8,100万円となり、前年度と比較し25億9,100万円の増となっています。これは、南薩地区新クリーンセンターの施設整備に伴う負担金の大幅な増額が主な要因となっています。

まず、歳入で市税については、直近における経済の動向や市税収入の状況、税制改正の影響や地方財政計画などを踏まえ、2億703万8千円の増となりました。

地方交付税については、前年度と同額の79億円となっています。

市債については、将来世代に過度な負担を残さないよう交付税措置のある有利な地方債の活用を図りました。また、臨時財政対策債については、地方交付税の原資が増額確保され折半財源不足が生じていないことから、発行額が大幅に抑制されました。

次に、歳出で前年度と比較して増減額の大きいものを性質別で見ると、普通建設事業費が21億2,964万1千円の増となっていますが、前述した南薩地区新クリーンセンターの施設整備に伴う負担金等の増が主な要因となっています。また、物件費が2億2,815万7千円の増で、かごしま国体準備・運営事業の増が主な要因となっています。

4 特別会計及び公営企業会計の予算規模

(1) 国民健康保険特別会計

国民健康保険事業の運営を持続的かつ安定的に進めていくために、医療給付費の適正化対策や保険税の収納率向上対策に取り組むための予算を計上し、58億2,420万7千円となりました。

(2) 国民宿舎事業特別会計

職員の人件費、施設の運営費等を計上し、1億9,401万5千円となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、厳しい経営状況が続いておりますが、施設を利用する方に安心して御利用いただけるよう、感染症対策を徹底し、新規顧客の獲得に向けた営業活動を行い、利用者ニーズを踏まえた事業運営に努めてまいります。

(3) 健康交流館事業特別会計

職員の人件費、施設の運営費等を計上し、9,976万1千円となりました。

本施設も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、厳しい経営状況の中、感染症対策に取り組みながら、国民宿舎吹上砂丘荘と連携を図り、合宿利用等を積極的に受け入れるとともに、温泉やプールを安心して御利用いただけるよう、事業運営に努めてまいります。

(4) 温泉給湯事業特別会計

維持管理委託料、電気料等の管理運営費等を計上し、504万円となりました。

(5) 介護保険特別会計

高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、介護予防の推進及び認知症対策の強化、介護給付の適正化を図り、安定的な介護保険事業の運営に努めるための予算を計上し、56億7,997万1千円となりました。

(6) 後期高齢者医療特別会計

保険料や低所得者の軽減保険料相当分の保険基盤安定繰入金及び広域連合納付金等を計上し、8億3,702万4千円となりました。後期高齢者医療保険の保健事業として、国民健康保険保健事業や介護保険制度における地域支援事業等との一体的な実施によるフレイル対策や疾病予防・重症化予防に取り組んでまいります。

(7) 水道事業会計

収益的収入及び支出の予算につきましては、収入額10億2,420万2千円、支出額9億8,586万円となりました。

資本的収入及び支出の予算につきましては、収入額 2 億 5,335 万円、支出額 8 億 2,870 万 8 千円となりました。

今後も計画的に水道施設整備等を実施し、安全な水の安定供給と効率的な経営に努めてまいります。

(8) 下水道事業会計

収益的収入及び支出の予算につきましては、収入額 8 億 1,880 万 3 千円、支出額 5 億 7,563 万 7 千円となりました。

資本的収入及び支出の予算につきましては、収入額 1 億 9,910 万円、支出額 4 億 1,046 万 4 千円となりました。

今後も公衆衛生の向上、生活環境の改善及び健全な水環境の創出に向けて、効率的な経営に努めてまいります。

5 令和5年度当初予算の姿

(1) 会計別の予算規模

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度	令和4年度	比 較	前年度比
	(A)	(B)	(A) - (B)	(A) / (B)
一 般 会 計	29,781,000	27,190,000	2,591,000	109.5
特 別 会 計	12,640,018	12,958,689	△ 318,671	97.5
国民健康保険特別会計	5,824,207	6,090,284	△ 266,077	95.6
国民宿舎事業特別会計	194,015	168,051	25,964	115.5
健康交流館事業特別会計	99,761	124,382	△ 24,621	80.2
温泉給湯事業特別会計	5,040	5,040	0	100.0
介護保険特別会計	5,679,971	5,742,459	△ 62,488	98.9
後期高齢者医療特別会計	837,024	828,473	8,551	101.0
合 計	42,421,018	40,148,689	2,272,329	105.7

公営企業会計

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度	令和4年度	比 較	前年度比	
	(A)	(B)	(A) - (B)	(A) / (B)	
水道事業会計	収益的収入	1,024,202	967,126	57,076	105.9
	収益的支出	985,860	893,141	92,719	110.4
	資本的収入	253,350	408,062	△ 154,712	62.1
	資本的支出	828,708	953,969	△ 125,261	86.9
下水道事業会計	収益的収入	818,803	782,359	36,444	104.7
	収益的支出	575,637	536,246	39,391	107.3
	資本的収入	199,100	130,191	68,909	152.9
	資本的支出	410,464	329,562	80,902	124.5

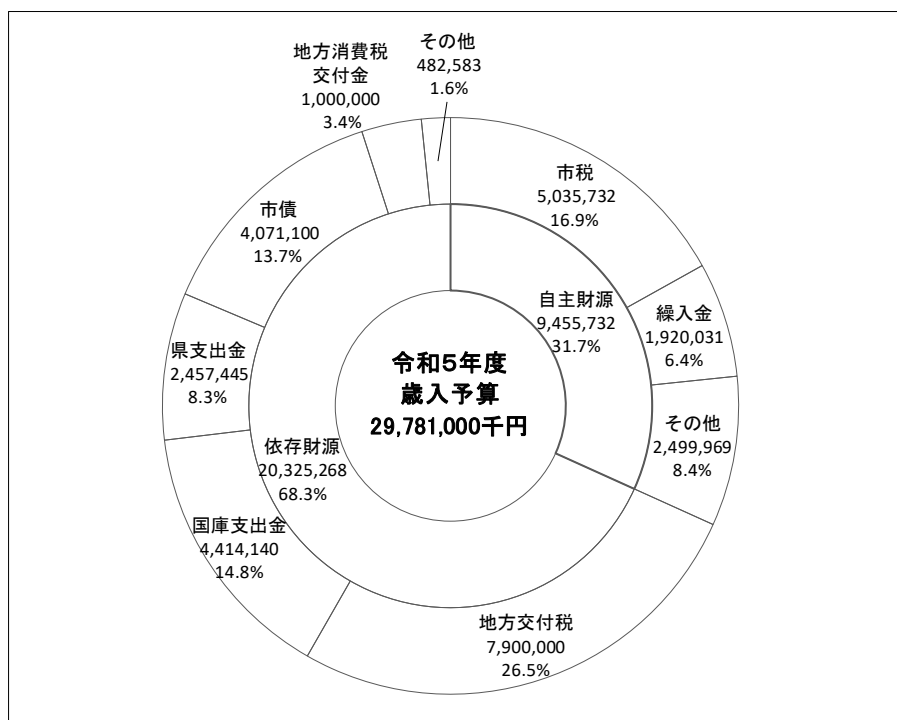
(2) 一般会計の歳入歳出予算

ア 歳入予算の状況

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		比較 (A) - (B)	前年度比 (A)/(B)
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比		
1 市 税 (自主財源)	5,035,732	16.9	4,828,694	17.8	207,038	104.3
2 地 方 譲 与 税	297,815	1.0	294,724	1.1	3,091	101.0
3 利 子 割 交 付 金	2,920	0.0	3,000	0.0	△ 80	97.3
4 配 当 割 交 付 金	8,000	0.0	7,100	0.0	900	112.7
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	8,100	0.0	8,100	0.0	0	100.0
6 法 人 事 業 税 交 付 金	65,445	0.2	58,563	0.2	6,882	111.8
7 地 方 消 費 税 交 付 金	1,000,000	3.4	900,000	3.3	100,000	111.1
8 ゴルフ場利用税交付金	35,000	0.1	35,000	0.1	0	100.0
9 環 境 性 能 割 交 付 金	13,103	0.0	12,767	0.0	336	102.6
10 地 方 特 例 交 付 金	46,800	0.2	42,200	0.2	4,600	110.9
11 地 方 交 付 税	7,900,000	26.5	7,900,000	29.1	0	100.0
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	5,400	0.0	5,348	0.0	52	101.0
13 分 担 金 及 び 負 担 金 (自主財源)	107,947	0.4	109,482	0.4	△ 1,535	98.6
14 使 用 料 及 び 手 数 料 (自主財源)	407,034	1.4	412,462	1.5	△ 5,428	98.7
15 国 庫 支 出 金	4,414,140	14.8	4,617,898	17.0	△ 203,758	95.6
16 県 支 出 金	2,457,445	8.3	2,360,063	8.7	97,382	104.1
17 財 産 収 入 (自主財源)	60,324	0.2	64,375	0.2	△ 4,051	93.7
18 寄 附 金 (自主財源)	1,623,210	5.5	1,523,792	5.6	99,418	106.5
19 繰 入 金 (自主財源)	1,920,031	6.4	1,511,469	5.6	408,562	127.0
20 繰 越 金 (自主財源)	150,000	0.5	150,000	0.6	0	100.0
21 諸 収 入 (自主財源)	151,454	0.5	148,893	0.5	2,561	101.7
22 市 債	4,071,100	13.7	2,196,070	8.1	1,875,030	185.4
歳 入 合 計	29,781,000	100.0	27,190,000	100.0	2,591,000	109.5

(注)構成比は、それぞれ四捨五入によっているの、端数において合計とは一致しないものがある。

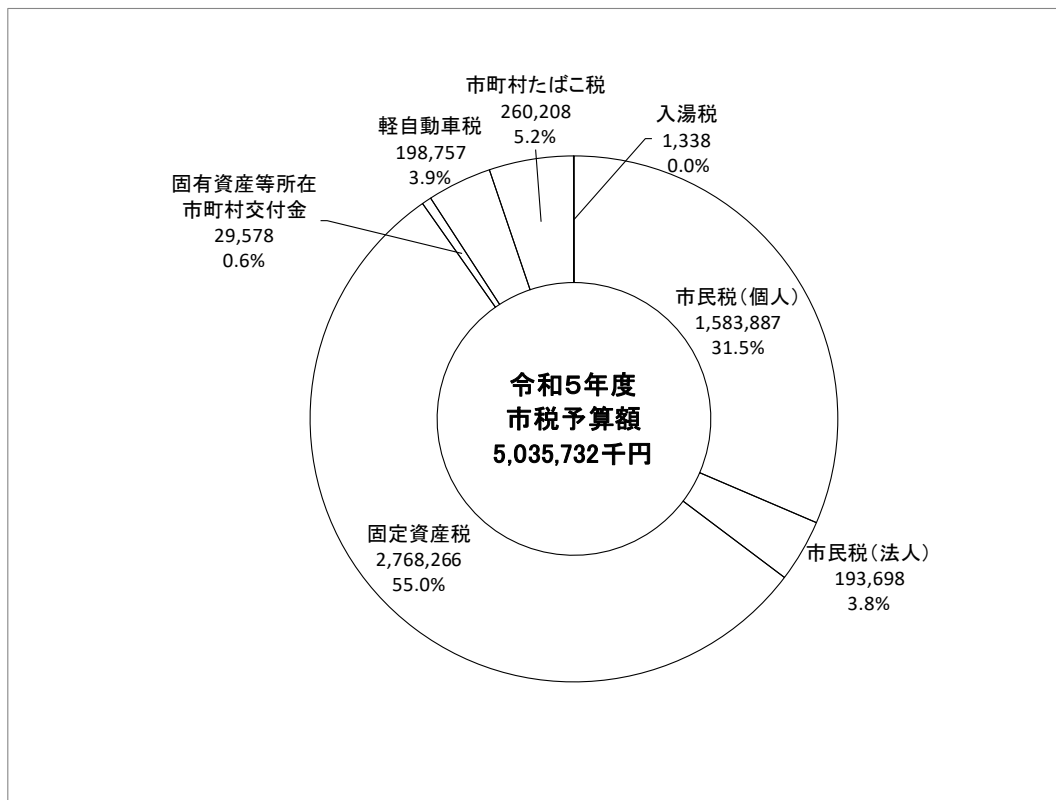


イ 市税の状況

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		比較 (A) - (B)	前年度比 (A)/(B)
	予算額 (A)	構成比	予算額 (B)	構成比		
市民税	1,777,585	35.3	1,751,216	36.3	26,369	101.5
個人	1,583,887	31.5	1,560,571	32.3	23,316	101.5
法人	193,698	3.8	190,645	3.9	3,053	101.6
固定資産税	2,797,844	55.6	2,634,038	54.5	163,806	106.2
固定資産税	2,768,266	55.0	2,604,413	53.9	163,853	106.3
国有資産等所在市 町村交付金	29,578	0.6	29,625	0.6	△ 47	99.8
軽自動車税	198,757	3.9	198,426	4.1	331	100.2
市町村たばこ税	260,208	5.2	243,985	5.1	16,223	106.6
入湯税	1,338	0.0	1,029	0.0	309	130.0
合 計	5,035,732	100.0	4,828,694	100.0	207,038	104.3

(注)構成比は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

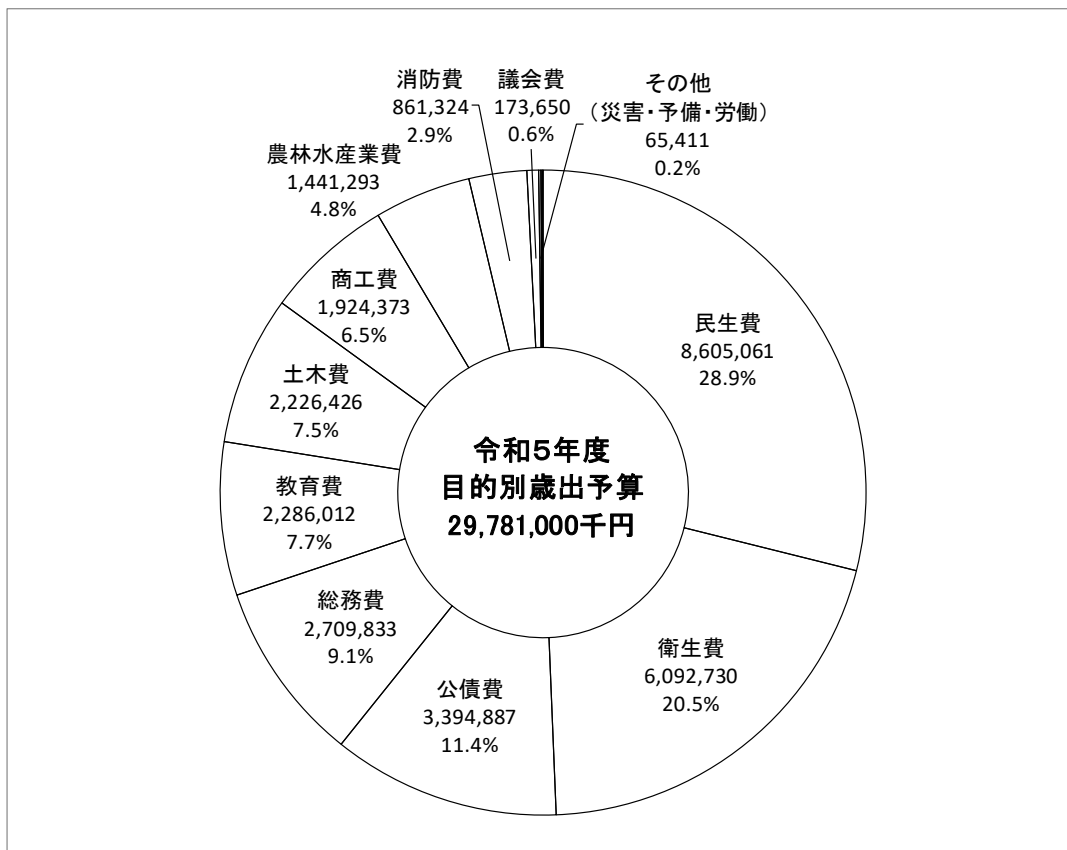


ウ 歳出予算の目的別状況

(単位：千円、%)

区 分	令和5年度		令和4年度		比 較 (A) - (B)	前年度比 (A)/(B)
	予 算 額 (A)	構 成 比	予 算 額 (B)	構 成 比		
1 議 会 費	173,650	0.6	179,418	0.7	△ 5,768	96.8
2 総 務 費	2,709,833	9.1	2,587,861	9.5	121,972	104.7
3 民 生 費	8,605,061	28.9	8,397,920	30.9	207,141	102.5
4 衛 生 費	6,092,730	20.5	4,130,461	15.2	1,962,269	147.5
5 労 働 費	12,850	0.0	12,850	0.0	0	100.0
6 農 林 水 産 業 費	1,441,293	4.8	1,563,098	5.7	△ 121,805	92.2
7 商 工 費	1,924,373	6.5	1,928,896	7.1	△ 4,523	99.8
8 土 木 費	2,226,426	7.5	2,119,393	7.8	107,033	105.1
9 消 防 費	861,324	2.9	930,239	3.4	△ 68,915	92.6
10 教 育 費	2,286,012	7.7	2,013,765	7.4	272,247	113.5
11 災 害 復 旧 費	32,561	0.1	32,356	0.1	205	100.6
12 公 債 費	3,394,887	11.4	3,273,743	12.0	121,144	103.7
14 予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	100.0
合 計	29,781,000	100.0	27,190,000	100.0	2,591,000	109.5

(注) 構成比は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計とは一致しないものがある。



エ 歳出予算の性質別状況

(単位：千円、%)

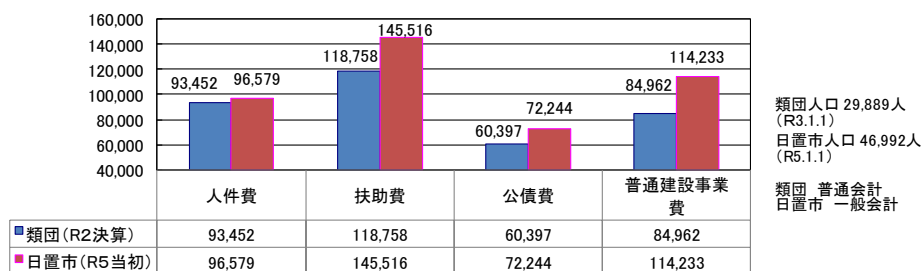
区 分	令 和 5 年 度		令 和 4 年 度		比 較 (A) - (B)	前 年 度 比 (A)/(B)
	予 算 額 (A)	構 成 比	予 算 額 (B)	構 成 比		
義 務 的 経 費	14,771,417	49.6	14,469,931	53.2	301,486	102.1
人 件 費	4,538,446	15.2	4,537,884	16.7	562	100.0
議員報酬手当	92,218	0.3	97,287	0.4	△ 5,069	94.8
委員等報酬	105,837	0.4	107,091	0.4	△ 1,254	98.8
市長等特別職の給与	33,238	0.1	33,356	0.1	△ 118	99.6
職員給	2,712,039	9.1	2,676,157	9.8	35,882	101.3
地方公務員共済組合等負担金	578,825	1.9	579,036	2.1	△ 211	100.0
退職手当組合負担金	304,588	1.0	305,851	1.1	△ 1,263	99.6
災害補償費	3,642	0.0	3,567	0.0	75	102.1
会計年度任用職員報酬	583,173	2.0	612,064	2.3	△ 28,891	95.3
会計年度任用職員期末手当	44,295	0.1	45,226	0.2	△ 931	97.9
人件費(その他)	80,591	0.3	78,249	0.3	2,342	103.0
扶 助 費	6,838,084	23.0	6,658,304	24.5	179,780	102.7
補助事業	6,307,988	21.2	6,121,513	22.5	186,475	103.0
単独事業	530,096	1.8	536,791	2.0	△ 6,695	98.8
公 債 費	3,394,887	11.4	3,273,743	12.0	121,144	103.7
投 資 的 経 費	5,400,576	18.1	3,270,730	12.0	2,129,846	165.1
普通建設事業費	5,368,015	18.0	3,238,374	11.9	2,129,641	165.8
補助事業	1,215,790	4.1	1,279,820	4.7	△ 64,030	95.0
単独事業	4,152,225	13.9	1,958,554	7.2	2,193,671	212.0
災害復旧事業費	32,561	0.1	32,356	0.1	205	100.6
補助事業	24,545	0.1	24,540	0.1	5	100.0
単独事業	8,016	0.0	7,816	0.0	200	102.6
そ の 他 の 経 費	9,609,007	32.3	9,449,339	34.8	159,668	101.7
物件費	3,572,449	12.0	3,344,292	12.3	228,157	106.8
維持補修費	142,335	0.5	148,687	0.5	△ 6,352	95.7
補助費等	3,454,512	11.6	3,488,509	12.8	△ 33,997	99.0
積立金	805,465	2.7	764,738	2.8	40,727	105.3
投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
繰出金	1,614,246	5.4	1,683,113	6.2	△ 68,867	95.9
予備費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	100.0
歳 出 合 計	29,781,000	100.0	27,190,000	100.0	2,591,000	109.5

(注)構成比は、それぞれ四捨五入によっているの、端数において合計とは一致しないものがある。

類似団体との比較

性質別の人口一人当たりの額

(単位：円)



第2 令和4年度下半期における補正予算の状況

- 1 令和4年度下半期の予算は、10月から3月末まで7回の補正を行いました。令和5年3月31日現在の一般会計の予算現額は、10月専決処分①、10月専決処分②、12月補正、12月追加補正、3月補正、3月追加補正及び3月専決処分の補正予算額を反映させ、表1のとおりとなっています。

表1 令和4年度各会計予算の推移

(1) 一般会計及び特別会計

(単位：千円)

区 分	一 般 会 計	特 別 会 計	特 別 会 計						合 計
			国民健康保険特別会計	国民宿舎事業特別会計	健康交流館事業特別会計	温泉給湯事業特別会計	介護保険特別会計	後期高齢者医療特別会計	
9月補正までの 予 算 現 額 (繰越額含む)	30,437,168	13,391,145	6,264,145	168,214	124,636	6,041	6,000,234	827,875	43,828,313
10月補正(専決) ①	535,549	0							535,549
10月補正(専決) ②	117,374	0							117,374
12月補正	630,381	301,041	317,738	-16,086	-2,110	歳出予算組替	5	1,494	931,422
12月追加補正	59,002	0							59,002
3月補正	-254,268	-105,761	-4,881	-5,849	-2,971	歳出予算組替	-86,963	-5,097	-360,029
3月追加補正	13,672	0							13,672
3月補正(専決)	349,075	0							349,075
予 算 現 額	31,887,953	13,586,425	6,577,002	146,279	119,555	6,041	5,913,276	824,272	45,474,378

(2) 公営企業会計

(単位：千円)

区 分	水 道 事 業 会 計				下 水 道 事 業 会 計			
	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
9月補正までの 予 算 現 額 (繰越額含む)	967,627	899,864	446,916	1,138,974	782,359	531,399	187,141	382,231
10月補正(専決) ①								
10月補正(専決) ②								
12月補正		58,580	1,962	2,758		5		79
12月追加補正		572		246		201		157
3月補正	-2,736	-27	-1,852	-1,852	-3,561	-6,857	-6,058	
3月追加補正								
3月補正(専決)								
予 算 現 額	964,891	958,989	447,026	1,140,126	778,798	524,748	181,083	382,467

2 一般会計における各補正予算の主な概要（歳出ベース）は、次のとおりです。

(1) 10月補正①(専決処分) 5億3,554万9千円の増額

補正予算(専決処分)の概要は、住民税非課税世帯等への電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業に伴う民生費の執行並びに令和4年9月の台風第14号による災害の復旧に伴う消防費、教育費及び災害復旧費の執行について、緊急を要したことから予算措置しました。

その主な内訳として、民生費で、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業実施に伴い4億8,487万9千円を増額計上しました。

消防費で台風第14号の避難所設置に伴う職員手当等の増により562万5千円を増額計上しました。

教育費で小中学校の維持補修に伴う工事請負費で、585万円を増額計上しました。

災害復旧費で、台風第14号の被害に伴う林道、農道、市道及び教育施設等の施設維持修繕料等の増により3,919万5千円を増額計上しました。

(2) 10月補正②(専決処分) 1億1,737万4千円の増額

補正予算(専決処分)の概要は、電力・ガス・食料品等の価格高騰に係る支援事業に伴う民生費及び教育費の執行について、緊急を要したことから予算措置しました。

その主な内訳として、民生費で、住民税均等割課税世帯給付金事業費及び介護予防・生きがい活動支援事業費7,861万4千円を増額計上しました。

教育費で、給食センター管理運営費3,876万円を増額計上しました。

(3) 12月補正 6億3,038万1千円の増額

補正予算の概要は、物価高騰の影響を受けている事業者等の支援や障害者自立支援給付費の扶助費の増額、寄附金の増額に伴う、ふるさと納税推進事業費の増額、光熱水費の高騰に伴う予算措置などのほか、来年度の施設維持管理業務等で年度内に契約を行う必要があるものについて、債務負担行為の設定など所要の予算を編成いたしました。

その主な内訳として、総務費で、移住定住促進対策事業費や県議会議員選挙費の増額などにより 2,541万9千円を増額計上しました。

民生費で、障害者自立支援給付費や生活保護総務管理費の増額などにより1億6,970万5千円を増額計上しました。

衛生費で、クリーン・リサイクルセンター運営費や新型コロナウイルスワクチン接種事業費の増額などにより7,151万6千円を増額計上しました。

農林水産業費で、焼酎用麴米に対する助成金に係る農業振興育成事業費や農地集積協力金事業費の増額などにより1,440万円を増額計上しました。

商工費で、寄附金の増額によるふるさと納税推進事業費の増額、国民宿舎事業特別会計や健康交流館事業特別会計の事業収入の減に伴う、繰出金の増額などにより2億8,140万1千円を増額計上しました。

土木費で、一般道路整備事業費や公営住宅管理費の増額などにより1,050万4千円を増額計上しました。

消防費で、防疫手当及び救急出動回数の増加に伴う一般職特殊勤務手当の増額などにより64万4千円を増額計上しました。

教育費で、学校施設や体育施設等の光熱水費や複式学級化に伴う小学校維持補修費の増額などにより4,873万9千円を増額計上しました。

災害復旧費で、現年補助農地農業用施設災害復旧費などの増額により1,369万4千円を増額計上しました。

公債費で、低利率で借入できたこと等により564万1千円を減額計上しました。

(4) 12月追加補正 5,900万2千円の増額

補正予算の概要は、人事院勧告の内容に準じ、職員の給料月額を増額し、勤勉手当の支給割合を引き上げたことに伴う予算措置と、一般職の市職員及び特別職の国家公務員の給与改定を勘案し、市長、副市長、教育長並びに市議会議員の期末手当の支給割合を引き上げたこと等に伴う予算措置のほか、国の第2次補正予算に伴う「出産・子育て応援交付金」の増額について所要の予算を編成しました。

その主な内訳として、給料、勤勉手当など1,933万円を増額計上しました。

衛生費で、出産・子育て応援事業費について 3,967万2千円を増額計上しました。

(5) 3月補正 2億5,426万8千円の減額

補正予算の概要は、保育所運営に関する予算措置や国の補正予算に伴う農林水産業等の産業基盤整備などのほか、来年度の業務で年度内に契約を行う必要があるものについて、債務負担行為の設定や年度内に事業完成が見込めないものについて繰越明許費の補正など所要の予算を編成しました。

その主な内訳として、議会費で、議会管理費の減額により 556万1千円を減額計上しました。

総務費で、将来の公債費の償還財源を確保するための減債基金費の積立金や個人番号カード事業費の増額などにより 8,956万1千円を増額計上しました。

民生費で、障害児通所給付費や保育所運営費の増額、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業費や電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業費、児童手当支給事業費の減額などにより 1億9,260万2千円を減額計上しました。

衛生費で、クリーン・リサイクルセンター運営費や感染症予防接種事務費、後期高齢者医療費の減額などにより 1億1,683万9千円を減額計上しました。

農林水産業費で、経営体育成支援事業費や産地パワーアップ事業費、畑地帯総合整備事業費の増額などにより 8,787万8千円を増額計上しました。

商工費で、国民宿舎事業特別会計や健康交流館事業特別会計の事業収入の減に伴う繰出金の増額や商工業振興費や地域経済活動支援事業費の減額などにより 2,103万4千円を減額計上しました。

土木費で、道路維持管理費や河川維持管理費の減額などにより 2,370万4千円を減額計上しました。

消防費で、消防施設整備費の減額などにより 898万6千円を減額計上しました。

教育費で、小中学校管理費や小学校建設事業費、民俗芸能伝承活動支援事業費の減額などにより 5,540万2千円を減額計上しました。

災害復旧費で、現年単独農地農業用施設災害復旧費や現年補助公共土木施設災害復旧費の減額などにより 757万9千円を減額計上しました。

(6) 3月追加補正 1,367万2千円の増額

補正予算の概要は、活動火山周辺地域防災営農対策事業における飼料作物確保対策機械購入に伴う予算措置のほか、年度内に事業完成が見込めないものについて繰越明許費の補正など所要の予算を編成しました。

その主な内訳として、農林水産業費で、活動火山周辺地域防災営農対策事業費における補助金及び交付金の増により 1,367万2千円を増額計上しました。

(7) 3月補正(専決処分) 3億4,841万9千円の増額

補正予算(専決処分)の概要は、地方消費税交付金、地方交付税、分担金及び負担金、国庫支出金、県支出金、繰入金及び市債の確定並びに総務費の執行について、緊急を要したことから予算措置しました。

その主な内訳として、総務費で、将来の公債費の償還財源を確保するための減債基金積立金の増額により、3億4,861万3千円を増額計上しました。

災害復旧費で、現年補助農地農業用施設災害復旧費の事業費確定により 19万4千円を減額計上しました。

第3 令和4年度下半期における予算の執行状況

1 一般会計予算の執行状況

(1) 歳入

令和5年3月31日現在の一般会計の執行状況は、次のとおりです。

総額318億8,795万3千円の予算に対し、275億6,256万6千円が収入済となっており、収入割合は86.4%となっています。

(単位:千円、%)

区 分	予算現額(A)		収入済額(B)		収入率 (B)/(A)*100	差引過不足額 (B)-(A)
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
市税	4,828,694	15.1	5,195,367	18.8	107.6	366,673
地方譲与税	295,380	0.9	299,562	1.1	101.4	4,182
利子割交付金	3,000	0.0	1,261	0.0	42.0	△ 1,739
配当割交付金	7,100	0.0	12,086	0.0	170.2	4,986
株式等譲渡所得割交付金	8,100	0.0	13,682	0.0	168.9	5,582
法人事業税交付金	58,563	0.2	41,159	0.1	70.3	△ 17,404
地方消費税交付金	1,138,414	3.6	1,138,414	4.1	100.0	0
ゴルフ場利用税交付金	35,000	0.1	38,073	0.1	108.8	3,073
環境性能割交付金	12,767	0.0	8,337	0.0	65.3	△ 4,430
地方特例交付金	55,584	0.2	55,590	0.2	100.0	6
地方交付税	8,839,586	27.7	8,839,586	32.1	100.0	0
交通安全対策特別交付金	5,348	0.0	5,208	0.0	97.4	△ 140
分担金及び負担金	109,981	0.3	98,575	0.4	89.6	△ 11,406
使用料及び手数料	417,538	1.3	383,495	1.4	91.8	△ 34,043
国庫支出金	6,800,620	21.3	6,122,588	22.2	90.0	△ 678,032
県支出金	2,778,298	8.7	1,643,554	6.0	59.2	△ 1,134,744
財産収入	64,554	0.2	98,305	0.4	152.3	33,751
寄附金	1,778,810	5.6	1,596,593	5.8	89.8	△ 182,217
繰入金	964,177	3.0	699,388	2.5	72.5	△ 264,789
繰越金	751,309	2.4	751,309	2.7	100.0	0
諸収入	164,030	0.5	151,834	0.6	92.6	△ 12,196
地方債	2,771,100	8.7	368,600	1.3	13.3	△ 2,402,500
歳入合計	31,887,953	100.0	27,562,566	100.0	86.4	△ 4,325,387

歳入の過不足について、国庫支出金、県支出金及び地方債等は、5月31日までの出納整理期間中に収入されるため、歳出への不足額は財政調整基金等から繰替運用を行い対応しています。

(2) 歳出

総額318億8,795万3千円の予算に対し、258億8,708万9千円を支出しており、支出割合は81.2%となっています。

(単位:千円、%)

区 分	予算現額(A)		支出済額(B)		執行率 (B)/(A)*100	予算残額 (A)-(B)
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
議会費	174,253	0.5	170,087	0.7	97.6	4,166
総務費	3,231,161	10.1	2,145,928	8.3	66.4	1,085,233
民生費	9,452,835	29.6	8,540,665	33.0	90.4	912,170
衛生費	4,510,307	14.1	4,012,058	15.5	89.0	498,249
労働費	12,850	0.0	12,850	0.0	100.0	0
農林水産業費	2,003,177	6.3	1,291,159	5.0	64.5	712,018
商工費	2,308,734	7.2	1,229,581	4.7	53.3	1,079,153
土木費	3,541,611	11.1	2,317,767	9.0	65.4	1,223,844
消防費	937,247	2.9	845,405	3.3	90.2	91,842
教育費	2,170,677	6.8	1,868,752	7.2	86.1	301,925
災害復旧費	256,999	0.8	184,837	0.7	71.9	72,162
公債費	3,268,102	10.2	3,268,000	12.6	100.0	102
予備費	20,000	0.1	0	0.0	0.0	20,000
歳出合計	31,887,953	100.0	25,887,089	100.0	81.2	6,000,864

2 特別会計予算の執行状況

令和5年3月31日現在の6つの特別会計執行状況は、次のとおりです。

(1) 歳入

(単位:千円、%)

区 分	予算現額(A)		収入済額(B)		収入率 (B)/(A)*100	差引過不足額 (B)-(A)
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
国民健康保険特別会計	6,577,002	48.41	5,797,604	46.11	88.1	△ 779,398
国民宿舎事業特別会計	146,279	1.08	114,828	0.91	78.5	△ 31,451
健康交流館事業特別会計	119,555	0.88	79,363	0.63	66.4	△ 40,192
温泉給湯事業特別会計	6,041	0.04	5,539	0.04	91.7	△ 502
介護保険特別会計	5,913,276	43.52	5,781,146	45.98	97.8	△ 132,130
後期高齢者医療特別会計	824,272	6.07	794,473	6.32	96.4	△ 29,799
歳 入 合 計	13,586,425	100.00	12,572,953	100.00	92.5	△ 1,013,472

歳入の過不足について、主に国庫支出金及び県支出金は、5月31日までの出納整理期間中に収入されるため、歳出への不足額は基金等からの繰替運用を行い対応しています。

(2) 歳出

(単位:千円、%)

区 分	予算現額(A)		支出済額(B)		執行率 (B)/(A)*100	予算残額 (A)-(B)
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		
国民健康保険特別会計	6,577,002	48.41	5,846,101	49.70	88.9	730,901
国民宿舎事業特別会計	146,279	1.08	132,491	1.13	90.6	13,788
健康交流館事業特別会計	119,555	0.88	107,699	0.92	90.1	11,856
温泉給湯事業特別会計	6,041	0.04	4,872	0.04	80.6	1,169
介護保険特別会計	5,913,276	43.52	4,887,274	41.55	82.6	1,026,002
後期高齢者医療特別会計	824,272	6.07	783,643	6.66	95.1	40,629
歳 出 合 計	13,586,425	100.00	11,762,080	100.00	86.6	1,824,345

3 企業会計予算の執行状況

令和5年3月31日現在の企業会計の執行状況は、次のとおりです。

(単位:千円、%)

区 分		予算現額(A) 金 額	収入及び支出済額(B) 金 額	執行率 (B)/(A)*100	予算残額 (A)-(B)
水道事業 会計	収益的収入	964,891	829,678	86.0	135,213
	収益的支出	958,989	438,547	45.7	520,442
	資本的収入	447,026	320,240	71.6	126,786
	資本的支出	1,140,126	572,777	50.2	567,349
下水道事 業会計	収益的収入	778,798	669,386	86.0	109,412
	収益的支出	524,748	244,210	46.5	280,538
	資本的収入	181,083	168,843	93.2	12,240
	資本的支出	382,467	360,906	94.4	21,561

資本的収入額が、資本的支出額に不足する額は、損益勘定留保資金等で補っています。

第4 市民の税負担と住民サービスの状況

1 市民の税負担の状況

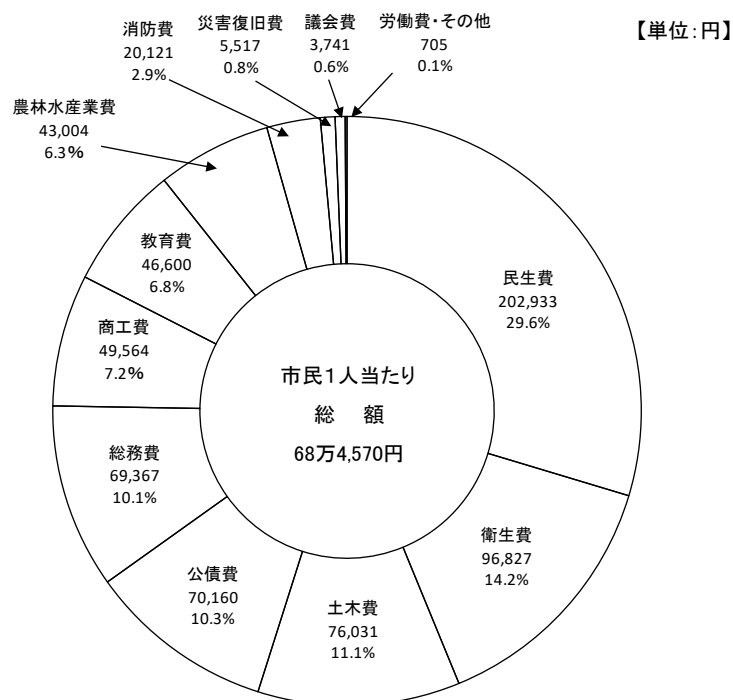
令和5年3月31日現在の市税の予算額を市民1人当たりに換算すると、1人当たり103,662円（前年度100,160円）、1世帯当たり214,752円（前年度209,316円）の負担となります。

令和5年3月31日現在 人口 46,581人 世帯数 22,485世帯		(単位:円)		
区 分	予 算 現 額	1 人 当 たり	1 世 帯 当 たり	
市民税	1,751,216,000	37,595	77,884	
個人	1,560,571,000	33,502	69,405	
法人	190,645,000	4,093	8,479	
固定資産税	2,634,038,000	56,547	117,146	
固定資産税	2,604,413,000	55,911	115,829	
国有資産等所在市町村交付金	29,625,000	636	1,318	
軽自動車税	198,426,000	4,260	8,825	
市町村たばこ税	243,985,000	5,238	10,851	
入湯税	1,029,000	22	46	
合 計	4,828,694,000	103,662	214,752	

2 住民サービスの状況

市民に還元される額を住民サービス費用とし、令和5年3月31日現在の一般会計歳出予算額を市民1人当たり、1世帯当たりに換算すると、1人当たり684,570円（前年度726,704円）、1世帯当たり1,418,188円（前年度1,518,672円）となります。

市民1人当たりの予算の使われ方



第5 市債及び一時借入金の状況

1 市債の状況

市債の現在高見込額（令和5年3月31日現在）については、次のとおりです。目的別に見ますと土木債が30.7%と最も高く、次いで教育債の14.3%、総務債の11.9%となっています。市民1人当たりの負担については、令和5年3月末で670,323円（前年度687,268円）となっています。

（単位：千円、%）

区 分	令和3年度末 現在高 (A)	令和4年度 借入見込額 (B)	増減見込額 償還見込額 (C)	令和4年度末 現在高見込額 (A)+(B)-(C)	構 成 比
1 普通債	22,010,415	2,578,800	2,177,293	22,411,922	71.8
(1)総 務	3,773,657	376,000	433,168	3,716,489	11.9
(2)民 生	315,467	38,800	40,828	313,439	1.0
(3)衛 生	459,657	410,800	58,986	811,471	2.6
(4)農林水産	1,379,654	261,400	127,497	1,513,557	4.8
うち公有林整備	10,749	0	2,257	8,492	0.0
(5)土 木	9,346,222	1,204,800	951,123	9,599,899	30.7
うち公営住宅	967,435	0	99,416	868,019	2.8
(6)消 防	2,126,202	89,200	233,655	1,981,747	6.3
(7)教 育	4,609,556	197,800	332,036	4,475,320	14.3
2 災害復旧債	281,593	27,300	11,701	297,192	1.0
3 その他	9,261,927	176,400	923,125	8,515,202	27.3
(1)住民税等減税補てん債	37,662	0	13,599	24,063	0.1
(2)臨時税収補てん債	0	0	0	0	0.0
(3)臨時財政対策債	9,181,019	176,400	909,526	8,447,893	27.1
(4)減収補てん債	43,246	0	0	43,246	0.1
合 計	31,553,935	2,782,500	3,112,119	31,224,316	100.0
普通債のうち辺地債	184,521	29,900	27,328	187,093	0.6
普通債のうち過疎債	2,652,593	768,900	325,974	3,095,519	9.9
普通債のうち合併特例債	16,079,586	1,350,000	1,322,811	16,106,775	51.6

2 一時借入金

一時借入金は、市が一時的に資金不足になったときに金融機関等から借入するものです。令和5年3月31日現在、一時的に資金が不足した際に市が保有する基金から現金を繰替運用することで対応できているため、金融機関等からの借入は行っていません。

第6 市有財産の状況

令和5年3月31日現在における市有財産の状況は、次のとおりです。

区 分		令和4年9月30日現在	令和5年3月31日現在	増 減	備 考
本 庁 舎		26,612.78	26,612.78	0.00	
その他の行政機関	出 張 所	0.00	0.00	0.00	
	消 防 施 設	24,311.40	24,129.74	△ 181.66	
	そ の 他 の 施 設	313.04	313.04	0.00	
公共用財産	学 校	482,249.29	482,249.29	0.00	
	公 営 住 宅	223,506.90	223,506.90	0.00	
	公 園	874,205.31	874,205.31	0.00	
	そ の 他 の 施 設	1,455,859.45	1,455,643.45	△ 216.00	
山 林		6,391,121.09	6,391,121.09	0.00	
一 般 住 宅		8,465.08	8,465.08	0.00	
教 職 員 住 宅		19,940.20	18,672.93	△ 1,267.27	
そ の 他		582,667.14	582,232.78	△ 434.36	
合 計		10,089,251.68	10,087,152.39	△ 2,099.29	

(単位：㎡)

区 分		令和4年9月30日現在	令和5年3月31日現在	増 減	備 考
本 庁 舎		15,964.99	15,964.99	0.00	
その他の行政機関	出 張 所	0.00	0.00	0.00	
	消 防 施 設	4,362.25	4,363.72	1.47	
	そ の 他 の 施 設	1,286.78	1,286.78	0.00	
公共用財産	学 校	88,643.89	88,438.89	△ 205.00	
	公 営 住 宅	70,723.19	70,601.05	△ 122.14	
	公 園	3,306.14	3,306.14	0.00	
	そ の 他 の 施 設	133,446.46	133,384.66	△ 61.80	
山 林		0.00	0.00	0.00	
一 般 住 宅		3,178.50	3,178.50	0.00	
教 職 員 住 宅		3,299.14	2,926.81	△ 372.33	
そ の 他		7,378.21	7,378.21	0.00	
合 計		331,589.55	330,829.75	△ 759.80	

(単位：㎡)

区 分	令和4年9月30日現在	令和5年3月31日現在	増 減	備 考
株 券	20,574	20,574	0	

(単位：千円)

区 分	令和4年9月30日現在	令和5年3月31日現在	増 減	備 考
出 資 に よ る 権 利	86,903	86,903	0	

(単位：千円)

区 分	令和4年9月30日現在	令和5年3月31日現在	増 減	備 考
財政調整基金	4,128,018	4,132,463	4,445	
減債基金	1,363,081	1,363,214	133	
施設整備基金	2,339,278	2,340,630	1,352	
人材育成研修基金	142,805	142,805	0	
中山間ふるさと・水と土保全基金	40,522	40,522	0	
国民健康保険保険給付等準備基金	348,257	348,268	11	
温泉給湯事業基金	2,641	2,958	317	
介護保険給付費準備基金	391,785	391,797	12	
土地開発基金	100,000	100,000	0	うち、現金 98,890、土地 1,110
高品質生産牛畜導入事業基金	31,931	31,931	0	うち、現金 7,506、導入牛24,425
肉用銘柄牛畜導入事業基金	17,003	17,003	0	うち、現金 3,003、導入牛14,000
奨学資金貸付基金	102,152	102,152	0	うち、現金 85,183、貸付額 16,969
国民健康保険高額療養資金貸付基金	4,730	4,730	0	
まちづくり応援基金	885,781	233,633	△ 652,148	
地域づくり推進基金	1,181,731	1,181,893	162	
かごしまエコファンドクレジット事業基金	1,912	1,912	0	
森林環境譲与税基金	37,544	37,544	0	
学校教育施設整備基金	3,393	3,393	0	
合 計	11,122,564	10,476,848	△ 645,716	

(単位：千円)